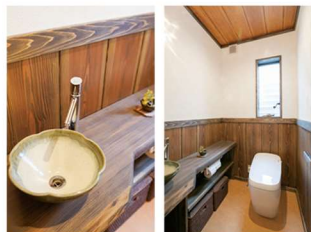




子どもたちが自分好みの部屋にできるよう、敢えて古民家感を出さないように心がけたという子ども部屋



まるで高級旅館のトイレのような空間。こちらも西洋漆喰が使われており消臭効果を発揮している



土間の上は吹き抜けになっており開放感も抜群。和の建築には欠かせない瓦意が印象的だ



favorite!  
わが家のここがお気に入り!



緑側に腰を下ろし、お茶を飲んだり庭で遊ぶ子どもたちを眺めたり。何気ない日常の幸せを実感!



右奥にはウォークインクローゼットがあり収納力も抜群の寝室。左奥にはご主人の趣味の部屋があり、土間のバイクを隠めながら読書をしたりプラモデルを作ったりしているそう

Company Profile

株式会社 ハウスランド社

福岡県筑紫野市大字吉木344-1  
TEL 092-922-8771  
http://www.h-land.jp

●詳しい情報はP000に掲載

この家で暮らして始めて半年。地鎮祭や餅まきを行なったこともあり、地域のコミュニティにもスムーズに入ることができたそう。「昔からあるコミュニティに入っていく方が落ち着くんです」と奥さま。通りすがりに挨拶をしたり、子どもさんたちが遊びに行ったり。ときには手づくりのお寿司などをお裾分けしてくれたり、お庭の花をわけてくれたりと、昔ながらのご近所づきあいを満喫している。「マンションの頃よりも、子どもたちが生き生きしています。息子は、古いつてかっこいいよね。って言ってくれるし、娘も縁側をステージに見立ててご近所さんに向けて歌うなど、いつも「機嫌です」。暮らして始めて半年だが、何年もこの家で暮らして続いているように馴染むAさんご一家。その穏やかな暮らしは、何ものにも代えがたい幸福感に満ちていた。

昔ながらのご近所づきあいを満喫



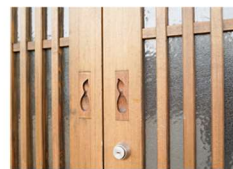
キッチンの横には読書を飾る棚を造作。そのすぐ横には奥さま専用の作業スペースがあり、学校関係の書類を書いたり読書をしたりしているそう



窓の外を眺めながら家事をする。昔ながらの暮らしを実現。収納も多く見えるところはすっきりとした印象だ

【キッチン】

落ち着いた深めのブラウンに統一された字型のキッチン。「今は対面キッチンが主流だけど、窓の方に道具が揃っている生活感が好きなのでこのカタチにしました」と奥さまは言う



職人による丁寧な仕事が随所に散りばめられている

子どもに伝えたいかったことを大工さんが伝えてくれた！  
近くに住む家族やママ友たちなど人が多く集まるAさんの家。将来的にはご両親との同居も視野に入れており、土間から直接客間にも行けるような設計にした。また、子どもたちが直接自分たちの部屋に行けるよう、玄関入ってすぐの場所にハンゴを掛けた。「思春期になると、親の顔を見ずとも自分の部屋に行きたいと思うこともあるんじゃないかな」と思っている。今は子どもたちの遊び場ですけれど「話すご主人だが、2階にあがるときはハンゴをのぼることも多いそう。建築中、ほぼ毎日現場を訪れていたというAさんご一家。『家ってこんなふうに住っていいんだよ、よといった、家づくりを通して子どもたちに伝えたいことを、大工さんが直接話してくださいました。』